



町内会活動のすすめ

住みよい地域づくりはここから

町内会は、誰もが安心して地域で暮らせるよう、さまざまな取り組みを進めています。改めて、町内会が果たしている役割について理解を深め、できることから参加してみませんか。

問い合わせ 市民活動課（市庁舎3階、☎65・4130）

現代社会は、情報通信技術の発展や、ライフスタイルの変化に伴い、人と人とのつながり方や関わり方が多様化し、身近な地域の間関係が希薄になってきたといわれています。

しかし、安全・安心で豊かな暮らしを営むためには、住んでいる場所での近所付き合いなど、「顔の見える関係づくり」が大切ではないでしょうか。

町内会が支える地域の安全・安心

町内会は、住民が互いに支え合い、助け合いながら住み良い地域

をつくるために組織された自主的な任意団体です。

現在、市内には767（令和2年2月末現在）の町内会があり、日常生活に密接に関わるさまざまな活動に取り組んでいます。

例えば、防犯灯やごみステーションの維持管理をはじめ、子どもたちの登下校時の見守り、災害に備えた自主防災活動、広報おびひろの配布、清掃活動、親睦・交流行事の開催などを行い、身近な地域の暮らしを支えています。これらの活動に要する経費は、主に会員の皆さんによる町内会費で賄われています。

町内会への加入や活動の相談をするには？

市では、市外から転入した人、市内で転居した人、現在までに町内会未加入の人などで、新たに町内会加入を検討している人に対し、町内会役員との連絡を仲介するなどのサポートを行っています。

「加入したいが、町内会長の連絡先がわからない」「会費などの町内会のルールや、ごみステーションの場所を確認したい」などの相談は、市民活動課まで電話で問い合わせるか、右のQRコードを読み取り、必要事項を入力の上、送信してください。



加入申し込み
困り事の相談
はこちらから

できることから始めよう

帯広市町内会連合会
会長 **高宮 裕** さん

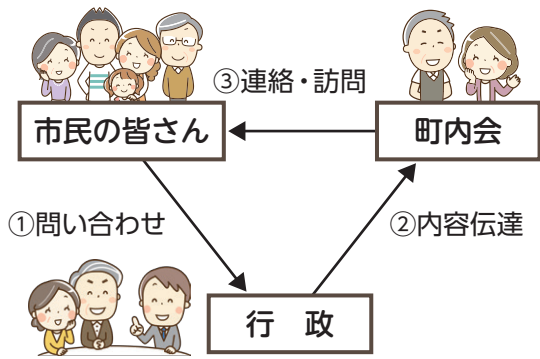


町内会は、身近な地域の暮らしを支える組織であると同時に、一人ひとりが能力や経験を生かし、地域社会に貢献する足掛かりとなれる場所です。

帯広市でも高齢化が進行していますが、70・80歳代でも健康で元気な人が多いです。高齢者の能力や経験と、若い世代の力が合わさることで、地域全体が活性化し、住み良いまちづくりにつながっていきます。

現在、あまり町内会に関わりのない人は、できることから少しずつでも構わないので、町内会活動に参加しませんか。人と人との結び付き、地域の絆を一緒に深めていきましょう。

町内会加入に関わる市のサポート（例）



町内会活動に参加を！

町内会の役割が多様に存在する一方で、加入者の数は年々減少傾向にあり、人手不足などを背景に、運営に苦慮する町内会が増えてき

ています。

しかし、町内会の行事や活動への参加をきっかけに、地域住民同士の親睦や交流が深まることは、災害時など、いざというときに助け合う重要な力となることから、今後も町内会が持つ役割は大きい

と考えられます。

住んで良かったと実感できる地域をつくるには、皆さん一人ひとりの力が必要です。ぜひ、町内会の意義を改めて理解し、できることから参加してみませんか。

町内会が取り組んでいる活動内容をご紹介します！

防災

- ・自主防災組織の結成
- ・防災訓練の実施
- ・防災マップの作成
- ・防災用品の備蓄



環境・美化

- ・ごみステーションの設置および維持管理
- ・資源集団回収
- ・公園やチビッ子広場、植樹升の維持管理



防犯・交通安全

- ・防犯灯の設置および維持管理
- ・防犯パトロール
- ・通学路における子どもの見守り



親睦・交流

- ・各種親睦行事の実施（お祭り、盆踊り、花見、観楓会、運動会、パークゴルフ大会など）
- ・高齢者サロンの開設



福祉

- ・子ども会活動
- ・老人会活動
- ・独居高齢者の見守り
- ・除雪困難者宅前の除雪活動



情報の伝達

- ・広報おびひろの配布
- ・町内会だよりの作成
- ・回覧板による地域情報の共有

